



市民ファーストの「まちなかアリーナ」ワークショップ

～南平体育館建替えワークショップについて～

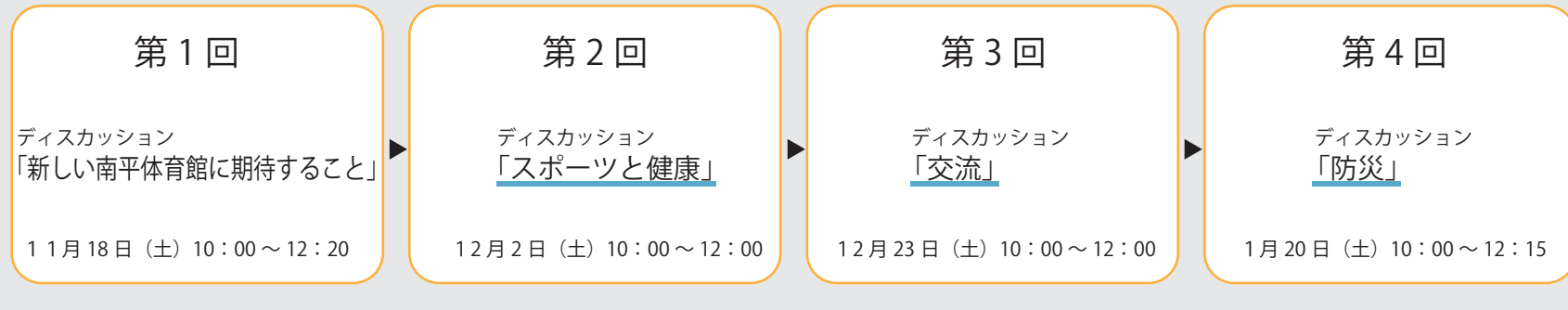
市民の皆様をはじめ、南平地域の皆様に愛され、使い続けていただけるような体育館とすべく、昨年 11 月から計 4 回にわたって南平体育館建替えワークショップを実施いたしました。

今回は、スポーツ関係団体をはじめ、自治会、消防団、障害者団体、お祭りの実行委員会など、様々な分野からお集りいただき、新南平体育館のコンセプトである、「スポーツと健康」「交流」「防災」について、ワークショップでいただきましたご意見を反映した現時点でのプランをまとめました。

今後につきましては、今回の報告させていただくプランをベースに、詳細な平面・立面計画、設備・省エネ面の検討、費用の算出、法的条件の整理等を踏まえ基本設計図書の作成を進めてまいります。

なお、基本設計図書については、再度、パブリックコメントを行い、市民の皆様から広くご意見を伺い、実施設計へと反映させていく予定です。

■全 4 回の流れ



目指すべき姿

- 1 “フラッと立ち寄れる” スポーツ以外にも楽しめる
- 2 新たな人、コト、スポーツに出会える “つながりの場”
- 3 子供から高齢者、子育てママ、障害者まで “すべての人が使いやすい施設”
- 4 “南平の特徴を活かした施設”
- 5 “浅川南の防災拠点”

■ワークショップで出た主な意見

ソフト		
プログラムの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ、ダンス教室 ・ひの健康貯筋体操 ・料理教室 ・体験教室 ・救命講習(AEDなど) ・健康講座 ・親子イベント ・昔ながらの遊び教室 ・パブリックビューイング ・プロスポーツの試合 ・ミニコンサート ・アリーナを個人利用できる日 	サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・無料ネットサービス(Free WIFI) ・体育館利用状況の表示 ・使いやすい登録、予約システム(チケット制など) ・利用料(ワンコイン) ・利用時間(夜遅くまで) ・年齢別の利用ルール ・レンタル用具の充実 ・自転車のレンタル ・BBQ機材のレンタル ・ペット同伴可 ・上級救命技能認定を持つ職員 ・子供の見守り ・駐車場の無料化 建物名称の変更(南平アリーナ) 	地域イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市民フェア ・BON祭り ・BOW祭(炊き出し) ・運動会 ・春/花見 夏/納涼祭 秋/盆踊り ・カレー祭り ・日野産農作物の朝市・夕市
他施設との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・散策ルート ・ランニングコース ・自治会 ・ケーブルテレビでの宣伝(市民の認識を高める活動) 	アクセスのしやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・バス経路の新設 ・乗り捨て自転車システム 	防災 <ul style="list-style-type: none"> ・浅川南の防災拠点 ・福祉避難所として機能 ・要支援者へのサポート体制 ・避難訓練、セミナーの実施(イベントと合わせて楽しく学ぶ) ・防災資料の展示(防災マップ等) ・障害、病気の人が判別できる仕組み ・要介護者のプライベートスペース ・日常からの連携体制確立

ハード		
アリーナ <ul style="list-style-type: none"> ・移動式バスケットゴール ・ランニングコース ・観覧スペース ・舞台(可動式) ・ハンドロウルコース ・防球ネット、セパレーターネットは出来るだけ少なく ・控室(アリーナ脇) ・インフラのバックアップ(非常用発電、浅川・井戸水の活用等) ・水害対策:1F床レベルの設定 	多目的ルーム <ul style="list-style-type: none"> ・キッチン ・パブリックビューイング機器(スクリーン+プロジェクター+音響+暗幕) ・テレビ ・ストレッチスペース ・内外で見通せるガラス壁 ・健康測定器具(骨密度、筋力、血圧、体脂肪等) ・弓道場の有効活用(射場～的場) ・会議室(30～100人) ・スタジオ(音楽室) 	バックスペース <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙所 ・パウダールーム ・おむつ交換台(男女便所に) ・医務室(保健室、救護室) ・貸シャワー、貸ロッカー ・受入れ人数分の十分な防災備蓄
市民ロビー・市民クラブハウス <ul style="list-style-type: none"> ・飲食スペース ・視覚障害者に優しい家具 ・デジタルサイネージ ・キッズルーム(幼児も) ・売店、食堂、物販スペース ・ボルダリング ・発表・展示の場 ・昔遊びができる場所 ・囲碁・将棋の出来る場所 ・スポーツが見える場所 ・健康サイン ・下足スペースの充実 ・談話(交流)スペース 	外部 <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化 ・南平公園との連携した外構 ・南平小学校との連携した外構 ・ランニングコース (距離・周辺コースの表示) ・歩道空間 ・ランニング・散策の休憩スペース ・デジタルサイネージ ・イベント用電源 ・野外舞台 ・BBQスペース ・駐車場の充実 (台数、大型バス対応) ・庇のある駐車場 ・外部光源の確保 	バリアフリー <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナの障害者スポーツ対応 ・視覚障害者に分かりやすいサイン ・アイドラゴン(字幕、手話放送受信機) ・音声案内 ・エレベーターの車椅子、ベビーカー対応 ・更衣室、便所の車椅子対応 ・段差の分かりやすい階段 ・イベント時の屋内外の一体利用(移動式のスロープなど) ・車椅子駐車場 ・掲示板(文字情報化、音声情報化) ・障害者対応トイレ (音声案内、手摺、介護者同伴可)

※赤字: 対応済み項目
 青字: 今後の検討項目
 黒字: 対応不可項目

ワークショップを踏まえた建物構成

1 目指すべき姿 “フラッと立ち寄れる” スポーツ以外にも楽しめる

“地域住民のふれあいの場”

で親しみある地域の寄合場をつくります

- ・カフェ、キッズスペースをエントランスに設置し、活気あふれる施設の顔をつくります。
- ・弓道場を利用していない時には、フリースペースとして開放しラウンジと一体で子供の遊び場になります。

2 目指すべき姿 新たな人、コト、スポーツに出会える “つながりの場”

光溢れる吹抜空間で活気ある “出会いの場” をつくります

- ・吹き抜けを介して、施設全体の活動が見えることで、新たな人・コト・スポーツの出会いの場となります。
- ・室内のスポーツや市民のふれあいの活気ある様子が、各所に設けたガラス開口から溢れ出します。

3 目指すべき姿 子供から高齢者、子育てママ、障害者まで “すべての人が使いやすい施設”

みんなの “目が行き届く安心” の施設とします

- ・事務室からの死角が極力少ない空間構成とすることで、管理者の目が行き届く安全な施設とします。
- ・見通しのきく明快な空間構成とすることで、利用者が使いやすい施設とします。

駐車場から各諸室まで、段差のない “バリアフリー” を徹底します

利用方法・頻度に合わせた “明快な室配置” で利用しやすい施設とします

4 目指すべき姿 “南平の特徴を活かした施設”

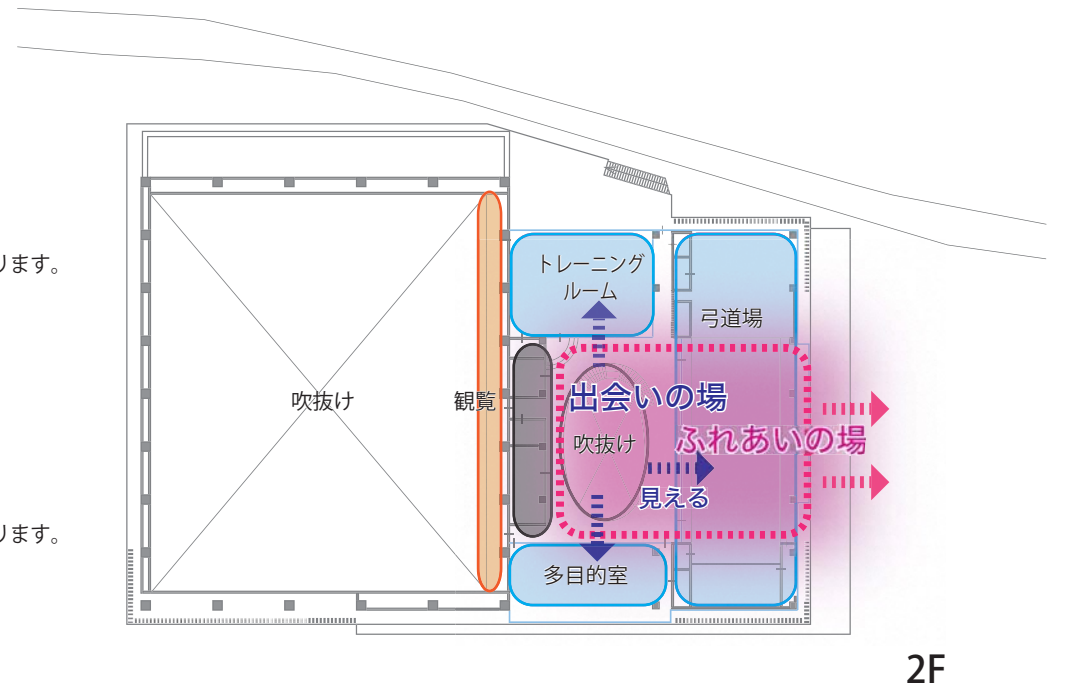
“水と緑のプロムナード” が南平の豊かな自然をつなぎます

- ・敷地北側の「緑のプロムナード」が、南平小学校まで繋がる心地良いアプローチ空間をつくります。
- ・敷地南側の「水のプロムナード」が、南平用水・南平公園と一体で親水空間をつくります。
- ・「多摩丘陵」を借景にした明るくフレッシュなスポーツ空間をつくります。

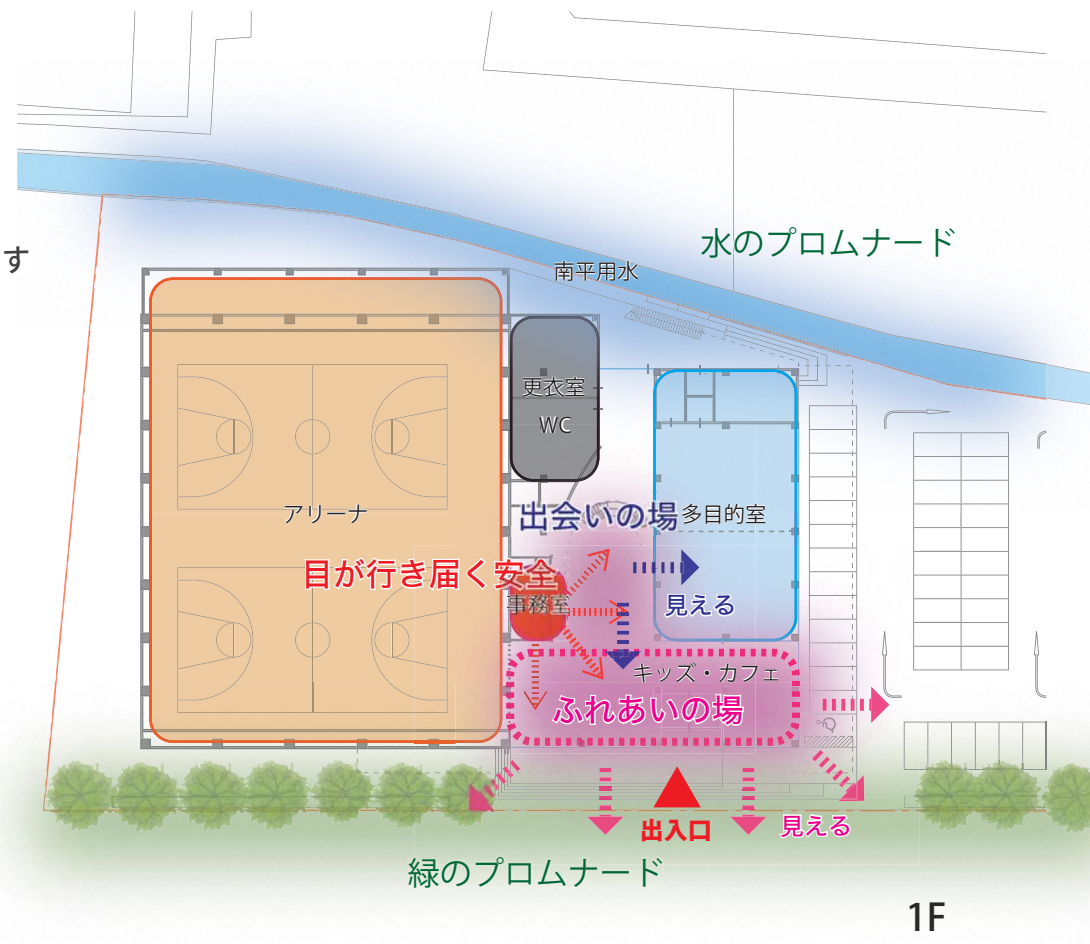
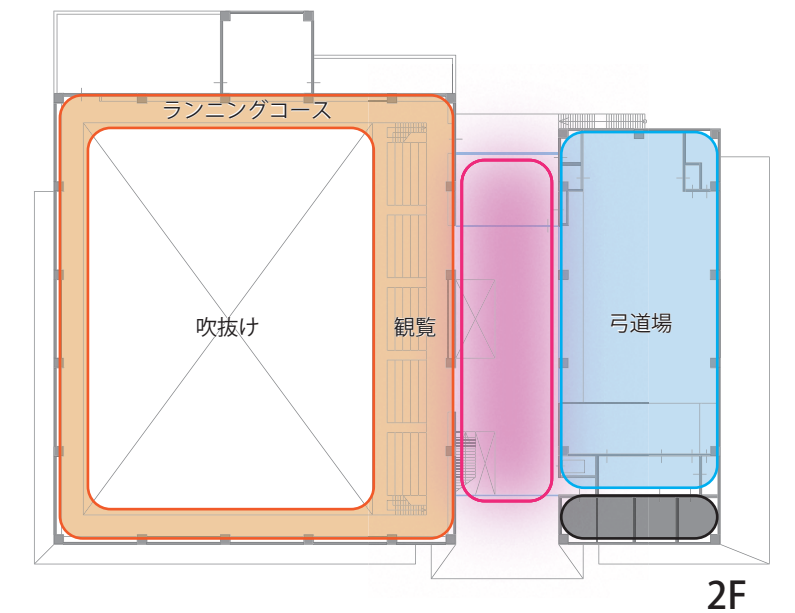
5 目指すべき姿 “浅川南の防災拠点”

災害時人々を優しく受け入れ守る “市民のセーフティハウス”

- ・1階床レベルを調整することで、浅川の浸水に対応します。
- ・地震発生時は、地域の準福祉避難所として機能します。(次々ページ参照)



反映前



scale 1:800



スポーツと健康 街に活気と潤いを生み出す「まちなかアリーナ」

WSでの市民の意見

カフェ・キッズスペース

- ・下足スペースの充実
- ・キッズルーム（幼児も）
- ・売店、食堂、物販スペース
- ・談話（交流）スペース
- ・飲食スペース

3

便所・更衣室

- ・更衣室、便所の車椅子対応
- ・パウダールーム
- ・おむつ交換台（男女便所に）

5

外構

- ・屋上緑化
- ・ストレッチスペース

7

- ・南平公園との連携した外構

8

外構

- ・歩道空間
- ・ランニング・散策の休憩スペース
- ・南平小学校との連携した外構

1

共用部

- ・スポーツが見える場所
- ・内外で見通せるガラス壁

4

5

駐車場

- ・駐車場の充実
- ・庇のある駐車場
- ・車椅子駐車場

12

弓道場

- ・「射場～的場」の有効活用

9

アリーナ

- ・観覧スペース
- ・ボルダリング

11

6

7 屋外デッキ
「多摩丘陵の借景」
トレーニングルーム、デッキは「多摩丘陵」の稜線と緑を借景に明るくフレッシュな空間です。南平公園、水のプロムナードと一体で自然豊かな空間をつくります。



6 アリーナ
「ボルダリング」
アリーナの一角に設けるボルダリングウォールは子供から大人までスポーツとして楽しめます。



5 便所・更衣室
「車椅子対応」
多目的便所の設置に加え、一般便所・更衣室も車椅子で利用できる仕様とします。



4 円形吹抜け
「施設全体を繋ぐ一体空間」
施設の中央に設けた吹抜けが利用者の視線、動線、活気を繋ぎます。施設全体が見渡せるようにすることで「新たな人・コト・スポーツの出会いの場」となります。



4 ラウンジ
「新たなスポーツのきっかけの場」
ラウンジからは、ガラスの開口・ホルダーを介して、多目的ルーム、アリーナの活動が見え、「新たなスポーツに触れるきっかけの場」となります。



3 カフェ・キッズスペース
「地域住民のふれあいの場」
フラットと立ち寄れる入口付近に設けるブックカフェ、キッズ、集会室が「街への顔」を作ります。スポーツから文化まで幅広い活動を促す「地域住民の交流スペース」です。



2 ラウンジ
「地域住民のギャラリー」
ラウンジの壁面は「地域住民の活動の発表の場」となるギャラリー空間です。可動間仕切りを閉じれば、「地域の集会所」としても利用できます。



10 ガラス開口
「街の行燈」
京王線に面してガラス開口を設けることで、活動様子が溢れ出し、「街に活気」を与えます。夜には「街の行燈」として街を優しく灯します。



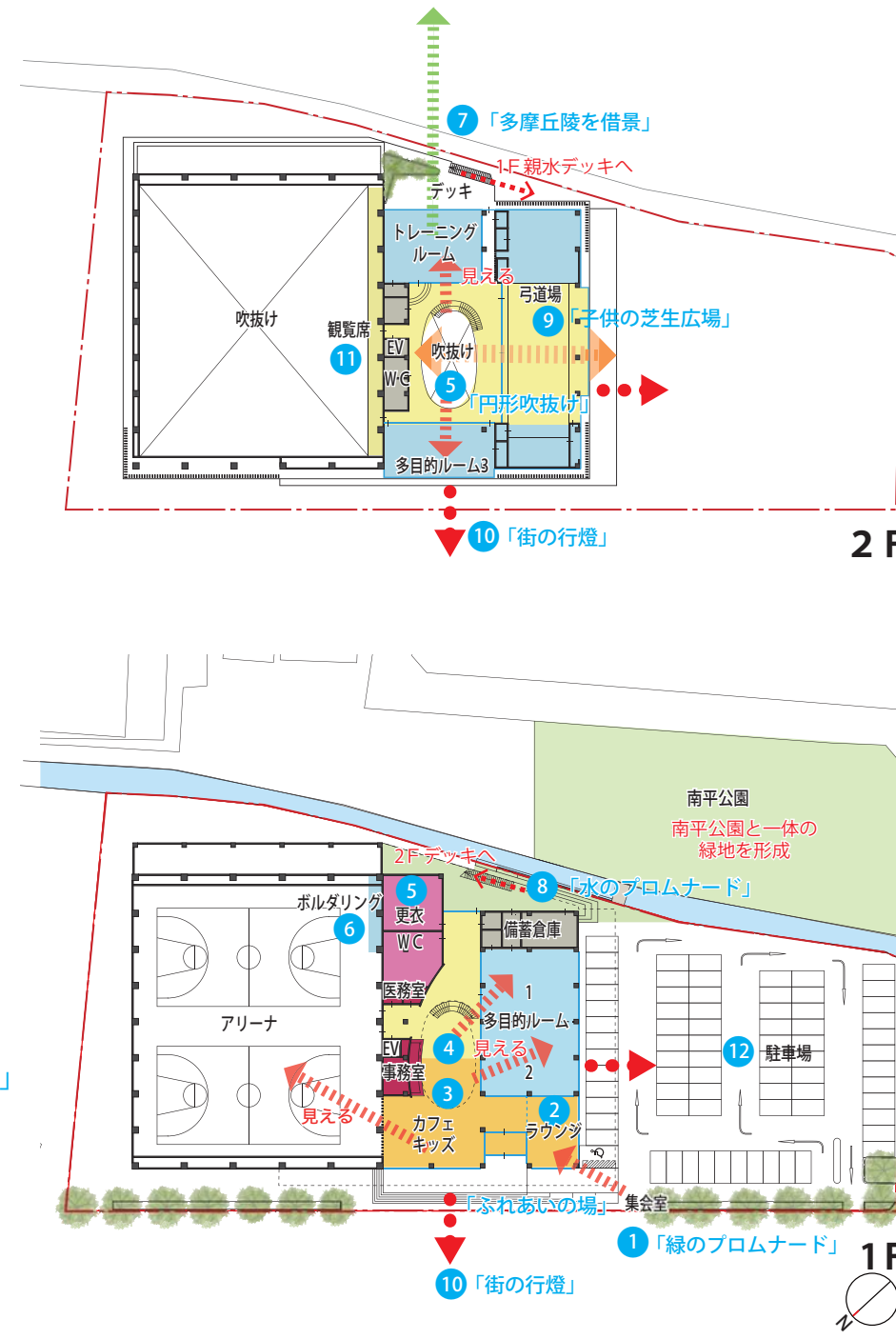
9 弓道場
「子供の遊び場」開放
弓道場の矢道は、昼間の閑散時間には「市民のふれあいスペース」として開放します。ラウンジと一体の「子供の遊び場」は、吹抜けを介して、施設全体に活気を与えます。



8 水のプロムナード
「親水デッキ」
南平用水の清流に直接触れられ、南平公園につながる親水デッキでは、自然豊かな「緑と水の日野市」の環境共生をアピールする、市民のエコ意識の啓蒙お場となります。



1 緑のプロムナード
「木漏れ日のアプローチ空間」
来館者のメインアプローチとなる敷地北側には「安心の歩行空間」をつくります。袖に設けたベンチに腰掛ければ、木漏れ日溢れる「散歩途中の休憩所」となります。



交流 お祭りと人々の活動があふれ出す「市民のコミュニティアリーナ」

WSでの市民の意見

地域イベントの開催

- ・市民フェア
- ・BON祭り
- ・BOW祭（炊き出し）
- ・運動会
- ・春/花見 夏/納涼祭 秋/盆踊り
- ・カレー祭り

1 4
2 5
3

外構

- ・イベント時の屋内外の一体利用

2 3

- ・野外舞台

1

- ・イベント用電源
- ・外部光源の確保

実施

- ・日野産農作物の朝市・夕市

2

1 駐車場「お祭り広場」

植栽等の障害物がない広大なオープンスペースは、**自由なレイアウト**でテント張りが可能です。正形に近い形状で、「盆踊り」「市民フェア」「産業まつり」にも十分対応可能です。



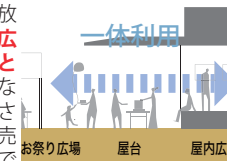
2 軒下ロビー「屋台スペース」

大きな庇により守られた**半屋外空間**は、「お祭り広場」と「屋内広場」を繋ぐ「おもてなしスペース」として屋台が設置できます。



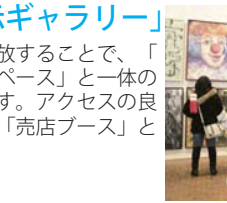
3 多目的ルーム1「屋内広場」

西側の開口を大きく開放することで、「お祭り広場」「屋台スペース」と**一体**の催しスペースとなります。アクセスの良さから「パネル展示」「売店ブース」として活用できます。



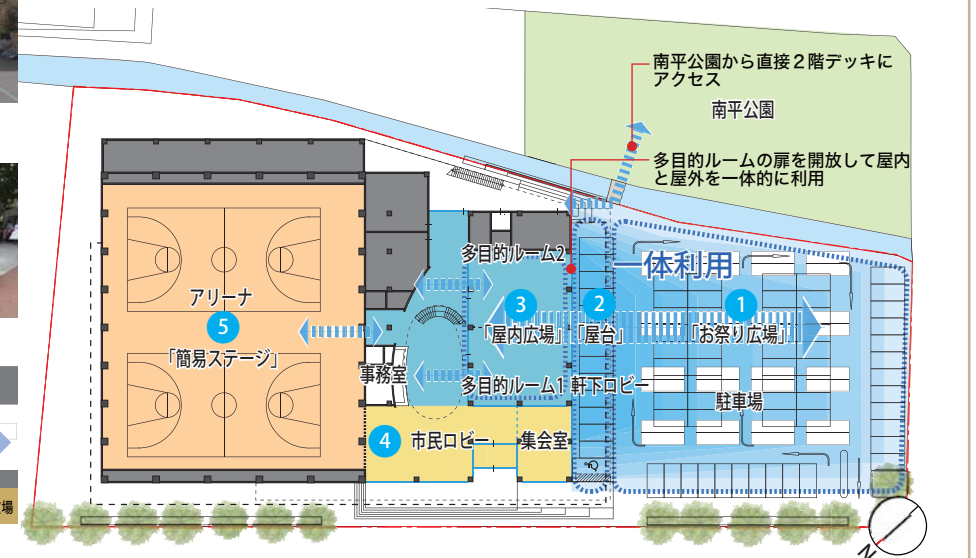
4 市民ロビー「展示ギャラリー」

西側の開口を大きく開放することで、「お祭り広場」「屋台スペース」と**一体**の催しスペースとなります。アクセスの良さから「パネル展示」「売店ブース」として活用できます。



5 アリーナ「簡易ステージ」

器具庫に収納されたロールマットを敷くことで、簡易ステージの設置が可能です。ダンスや音楽の活動発表の場として活用できます。2階弓道場矢道を東側に開放し、お祭り広場（駐車場）のステージとすることを検討中。



防災 災害時人々を優しく受け入れ守る「市民のセーフティハウス」

WSでの市民の意見

地震対策

- ・福祉避難所として機能
- ・インフラのバックアップ
- ・非常用発電
- ・井戸水の活用

実施

- ・要介護者のプライベートスペース

2

- ・受入れ人数分の十分な防災備蓄

7 8

ソフト

- ・要支援者へのサポート体制
- ・避難訓練、セミナーの実施
- ・防災資料の展示（防災マップ等）
- ・障害、病気の人々が判別できる仕組み
- ・日常からの連携体制確立

今後検討

災害時の活用例

食糧配給

1 軒下ロビー「炊出しスペース」

大きな庇により雨風がしのげ、火が使用可能な半屋外空間は、炊き出しスペースとして利用できます。集会室の扉を大きく開放することで、集会室と一体で配給機能を果たします。

9 事務室「現地災害対策本部」

全ての機能が見渡せる事務室は、対策本部として活用します。 ※現地とは、市南部エリアを指します。

負傷者・救急車

2 多目的ルーム1「負傷者のトリアージスペース」

医務室と隣接し、外部から直接アクセス可能な空間は、負傷者を受入れるトリアージスペースとなります。要配慮者スペースを併設します。

3 軒下ロビー「救急車の寄付き」

事務室、医務室、トリアージスペースと隣接する軒下空間は、救急車の寄付きスペースとして有効です。

避難エリア

4 軒下ロビー「マンホールトイレ」

雨風を防げる大庇の軒下にマンホールトイレを設置し、仮設便所として機能します。

5 多目的ルーム2「要配慮者受入れスペース」

配慮が必要な避難者の受入れスペースはトリアージスペース、医務室と近接して設けます。

6 市民ロビー「情報交換・談話スペース」

防災本部、医務室、避難者収容スペース等、多くの機能と隣接し、人々のメイン動線となるため、情報掲示スペースとして有効です。



物資

7 アリーナ「支援物資保管場所」

7 アリーナ「支援物資仮置き・分別スペース」
支援物資の仮置き、当施設および他施設への支援物資の分配を行います。